

息をあわせて
みんなでジャンプ!
石田中学校体育祭(9/18)



秋の議会だより

◇主な内容

- 8月、9月会議で決めたこと 2P～
- 「どえーな補正予算のあと？」 4P～
- 一般質問(10人が登壇) 8P～
- 議会報告会
「あん質問などえーんなった？」 14P～
- 市民の声 15P
- 議会だよりクイズ 16P

8月、9月会議で決めたこと

・全会一致（全員が同じ意見）の議案

（議案と審議結果一覧表）

番号	議 案 内 容	付託委員会	本会議採決結果	
議案1	医学修学資金貸与条例の一部改正	—	8.3	可決
議案2	H24年度一般会計補正予算（第3号）	—	8.3	可決
議案3	H23年度病院事業会計（かたばる病院事業会計）未処分利益剰余金の処分	—	9.18	可決
議案4	H23年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	—	9.18	可決
議案5	防災会議条例の一部改正	総務文教	9.28	可決
議案6	災害対策本部条例の一部改正	総務文教	9.28	可決
議案7	税条例の一部改正	総務文教	9.28	可決
議案8	国民宿舍条例の一部改正	産業建設	9.28	可決
議案9	火災予防条例の一部改正	総務文教	9.28	可決
議案10	公の施設の指定管理者の指定	総務文教	9.28	可決
議案11	武生水C辺地（変更）、渡良B辺地（変更）、初山B辺地、東可須辺地（変更）、立石辺地（変更）及び石田辺地（変更）に係る総合整備計画の策定	総務文教	9.28	可決
議案12	H24年度一般会計補正予算（第4号）	予算特別	9.28	可決
議案13	H24年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	厚生	9.28	可決
議案14	H24年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	厚生	9.28	可決
議案15	H24年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	産業建設	9.28	可決
議案16	H24年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	産業建設	9.28	可決
議案17	H24年度農業機械銀行特別会計補正予算（第1号）	産業建設	9.28	可決
議案18	八幡浦地区特定漁港整備工事請負契約の締結	産業建設	9.28	可決
認定1	H23年度一般会計歳入歳出決算認定	決算特別	9.28	認定
認定2	H23年度吉岐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	厚生	9.28	認定
認定3	H23年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	厚生	継続審査	
認定4	H23年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	厚生	継続審査	
認定5	H23年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	産業建設	9.28	認定
認定6	H23年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	産業建設	9.28	認定
認定7	H23年度特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定	厚生	9.28	認定
認定8	H23年度三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定	総務文教	9.28	認定
認定9	H23年度農業機械銀行特別会計歳入歳出決算認定	産業建設	9.28	認定
認定10	H23年度病院事業会計決算認定	厚生	9.28	認定
認定11	H23年度水道事業会計決算認定	産業建設	9.28	認定
陳情1	「芦辺町瀬戸浦の市道、恵美須～大久保線の幅員拡張工事」に関する陳情	産業建設	9.28	採択
議員発議1	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出	—	9.28	可決
議員発議2	合併後の新市町への財政支援策の充実強化を求める意見書の提出	—	9.28	可決

※ 賛否（賛成、反対）のあった議案はありません。

条 例

◇国民宿舎条例の一部改正

11月1日リニューアルオープンに伴い、利用料金(税別)を改正する。

宿泊料金(1泊2食付)	平日:	7,200円
	休前日等:	8,200円
	小学生児童は全日:	6,200円
広間専用料金(会議等)	大広間:	10,000円
	中広間:	3,000円

別途、会食を伴う場合は専用料金に配膳料金を加算

◇防災会議条例の一部改正

防災会議は災害が発生した場合において情報を収集する目的で、災害対策基本法に基づき設置される。今回改正で委員に部長級職員を2人と、自主防災組織を構成する者等2人以内を増員する。

※自主防災組織…自治会、婦人会等の単位で自主的に防災活動を行う任意団体で、地域住民が協力して日ごろの火災防止(火の用心の見回り、啓発、防災グッズの購入)や消火訓練、避難訓練を行う。

〈市内の自主防災組織〉

H24.10月現在

郷ノ浦町 元居婦人防火クラブ・初瀬婦人防火クラブ、坪中部・大島・長島・原島・牛方・新田・長峰本村・本村西部・渡良西触自主防災組織

勝本町 塩谷婦人防火クラブ、大坂自衛消防団(大久保触・坂本触)、新東自衛消防団、西戸触・片山触自主防災組織

芦辺町 諸津私設消防部、瀬戸浦会消防部、芦辺浦会消防部、湯岳辻里・湯岳今坂自主防災組織

石田町 山崎婦人防火クラブ、久喜婦人防火クラブ

◇辺地(変更)総合整備計画の策定

辺地対策特例債を活用し以下の事業を行う。

- 郷ノ浦地区第1分団2部小型動力ポンプ購入(郷ノ浦町片原)
- 郷ノ浦地区第2分団2部活動拠点施設整備(郷ノ浦町渡良浦)
- 市道小場1号線道路改良事業(郷ノ浦町初山東)
- 勝本地区第1分団小型動力ポンプ購入(勝本町塩谷)
- 市道八口線改良事業(勝本町立石)
- 市道白水線道路排水整備事業(石田町石田西)



11月1日リニューアルオープンの国民宿舎

◇市税条例の一部改正

地方税法の一部改正と復興財源の確保のため地方税の臨時特例の法定によるもので、たばこ税の増税と、個人の市民税にH26年度～H35年度までの各年度に500円を加算する。

◇火災予防条例の一部改正

電気自動車の普及により急速充電設備の容量50kwを超える設備等には届出が必要となった。

◇指定管理者の指定

芦辺浦住民集会所の指定管理者として、芦辺浦商業組合長 篠崎 勉氏を指定する。(指定の期間は平成24年10月1日～平成27年3月31日)



今回の指定管理者の非公募とした経緯は。



管理委託していた商工会が事務所再編のため十分な管理ができなくなった。芦辺浦地域の集会所、および商工活動の拠点地であるため利用状況を考慮して、地元の商業組合を非公募で決定した。



建替えられる渡良浦の消防倉庫

『どえーな補正予算のあと?』



◇一般会計

① しま共通地域通貨発行業務負担金

1,000万円

県内の離島過疎市町のPR及び誘客、離島過疎市町での消費促進につなげ産業振興や交流人口の拡大に寄与。

② 認知症高齢者グループホーム整備補助金

3,000万円

認知症の人が地域で安心して暮らせるよう、1ユニット(定員9名)のグループホーム施設開設希望者を公募し、その費用を助成する。

③ 地域の元気づくり支援

150万円

「地域の絆」を再生するため、自治公民館(小学校区の連合組織)の地域づくりの活動資金に補助する。

④ 高齢者肺炎球菌予防ワクチン接種

270万円

70歳以上任意接種者に1人1回3千円助成。

⑤ 離島輸送コスト支援事業

(農業) 1,610万4千円

(漁業) 940万円

島外への地場産品出荷の負担軽減のため海上輸送運賃の半額を生産者へ助成。

⑥ 外国人観光客受入施設グレードアップ推進

1,634万2千円

宿泊施設(12施設)の館内の外国語表示・外国語放送受信整備・インターネット環境整備・トイレ整備へ補助。

⑦ ふれあい交流 400万円

独身男女の出会いの機会を創出する。



○H24. 一般会計、特別会計補正予算額

(単位:千円)

会計名		現予算額合計	9月補正予算額	補正後予算額合計
一	一般会計	20,433,009	314,747	20,747,756
特別会計	国民健康保険事業特別会計	4,738,586	66,324	4,804,910
	後期高齢者医療事業特別会計	306,594	0	306,594
	介護保険事業特別会計	3,002,554	24,284	3,026,838
	簡易水道事業特別会計	898,065	1,233	899,298
	下水道事業特別会計	401,985	631	402,616
	特別養護老人ホーム事業特別会計	453,214	0	453,214
	三島航路事業特別会計	121,224	0	121,224
	農業機械銀行特別会計	112,600	17,445	130,045
	合計	10,034,822	109,917	10,144,739
一般会計、特別会計の合計		30,467,831	424,664	30,892,495

⑧ イノシシ捕獲駆除委託料 470万円
 8月からの目撃情報を受け初期段階で捕獲駆除を実施。

⑨ 観光案内標識等調査事業 393万円
 観光客に分かりやすい、道路や観光施設等の案内標識を整備。

◇国民健康保険事業特別会計

① 重症化予防対策 39万3千円
 特定健診で(血圧・糖・腎機能)重症化の予防対象者を選定し個別保健指導をする。



対馬と杵岐の猟友会合同でのイノシシ駆除



◇介護保険事業特別会計

① 高齢者見守り体制構築 99万6千円
 独居高齢者の生活状況、健康状態の把握をするための訪問調査と安否確認を実践する「あんしんサポーター」の養成等。

もろちとくわしゅう **Q** 訪問の具体的な方法と「あんしんサポーター」についてもう少し詳しく。

A 独居高齢者約300人に対し、保健師、看護師、運動指導者に委託をし、独居高齢者の生活状況や健康状態の把握、定期的な訪問希望者の聞き取り調査をモデル的に行う。

あんしんサポーターは地域の元気な高齢者にお願いをし、今年度は養成講座で対応法など習得していただく。

ちよっとブレイク

2014年の長崎国体へ向け「花いっぱい運動」がスタートしました。学校などで花苗の植え付けをして頂きます。綺麗な島で全国の皆様を歓迎しましょう。



八幡小学校では、子どもたちが国体イベントのお話を聞いて、プランターへのメッセージや、花植えに協力してくれました。

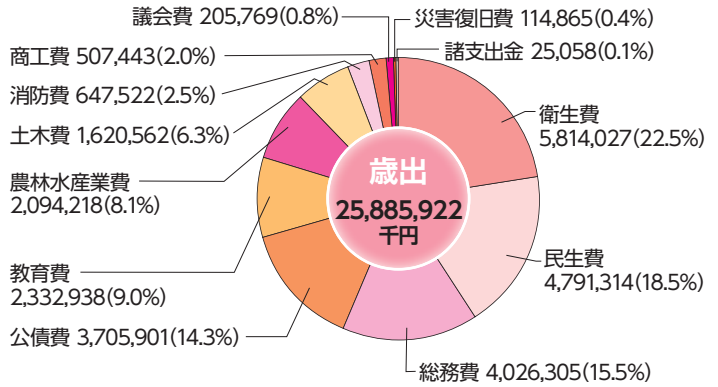
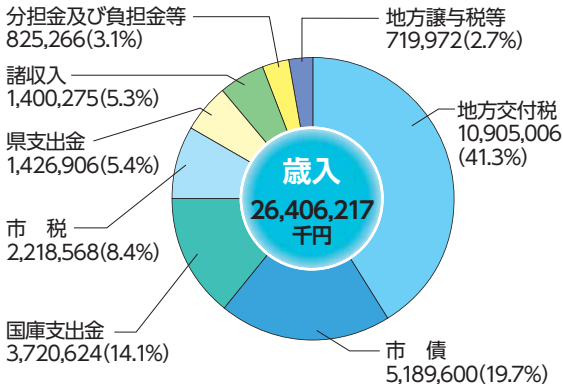
平成23年度の決算

一般会計 歳入金額 (もらったお金)
 歳出金額 (使ったお金)
 特別会計 歳入金額 (もらったお金)
 (総額) 歳出金額 (使ったお金)

264億621万7,124円
258億8,592万2,217円
99億3,460万1,641円
97億3,047万5,752円

一般会計の内訳

(単位：千円)



平成23年度決算額一覧表

(単位：円)

区分	歳入	歳出	差引	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
一般会計	26,406,217,124	25,885,922,217	520,294,907	49,918,665	470,376,242
国民健康保険事業特別会計	4,728,739,260	4,634,779,842	93,959,418		93,959,418
後期高齢者医療事業特別会計 <small>継続審査</small>	287,295,083	286,038,033	1,257,050		1,257,050
介護保険事業特別会計 <small>継続審査</small>	2,914,278,484	2,881,296,249	32,982,235		32,982,235
簡易水道事業特別会計	898,484,735	896,482,395	2,002,340	0	2,002,340
下水道事業特別会計	337,039,410	336,963,010	76,400		76,400
特別養護老人ホーム事業特別会計	518,586,655	460,556,656	58,029,999	0	58,029,999
三島航路事業特別会計	119,865,018	119,865,018	0		0
農業機械銀行特別会計	130,312,996	114,494,549	15,818,447		15,818,447
特別会計 合計	9,934,601,641	9,730,475,752	204,125,889	0	204,125,889
一般会計 + 特別会計 合計	36,340,818,765	35,616,397,969	724,420,796	49,918,665	674,502,131

公営企業

○病院事業会計

(単位：円)

施設名	収入	支出
沓岐市民病院		
収益的	2,257,682,325	2,502,015,151
資本的	109,219,000	180,210,354
かたばる病院		
収益的	390,907,010	367,728,272
資本的	0	0
合計	収入	支出
収益的	2,648,589,335	2,869,743,423
資本的	109,219,000	180,210,354

○水道事業会計

(単位：円)

	収入	支出	翌年度繰越額
収益的	161,273,715	128,765,324	
資本的	5,052,680	142,384,419	49,034,300

決算特別委員会報告

委員長：音嶋 正吾
 副委員長：久保田 恒憲
 委員：全議員
 (議長：オプザバー)

「一般会計決算認定審査意見」
 歳入…市税及び使用料等の収入未済額が前年度より増加している。徴収業務に万全を期されたい。
 歳出…古紙類等資源化処理委託料については、合併前からの経緯で現在に至っているが、本年度より新設稼働したりサイクル施設もでき再検証されたし。

総務文教常任委員会

委員長：今西 菊乃
副委員長：久間 進
委員：中田 恭一、榭原 伸
小金丸益明、呼子 好

本委員会に付託された議案6件・認定1件を審査し全議案可決した。

総合整備計画の策定に係る辺地(変更)について

- ・消防小型ポンプは15年を更新時期とし、今回建替えの格納庫は築35年を経過している物であるが、今後格納庫の耐震調査をすべき。
- ・消防ポンプ検診は年1度であるが年数の経過したものは回数を増やせないか。

予算特別委員会

委員長：久間 進
副委員長：小金丸益明
委員：全議員
(議長・オブザーバー)

平成24年度一般会計補正予算の審査を付託され、議長除く全議員で審査を行った。

総額3億1千474万7千円の補正額が提示された。

新規事業の「しま共通地域通貨」は、離島過疎市町村共通のプレミアム付きの共通商品券が来春4月に発行される国費事業。

また、認知症グループホームの施設整備に向けた助成など、ソフト事業への補正が主である。多種多様の関連質疑があるも、全会一致で可決した。

産業建設常任委員会

委員長：田原 輝男
副委員長：大久保洪昭
委員：牧永 護、瀬戸口和幸
中村出征雄、深見 義輝
町田 光浩

9月会議では、議案5件、決算認定4件、陳情1件の付託を受け、審査を行なった。採決の結果、全議案可決、認定、採択すべきものと決定した。

芦辺町瀬戸浦の市道、恵美須く大久保線の幅員拡張工事に関する陳情について、路線改良の必要性は認めるものの、厳しい財政状況の中、早急な対応と全線改良は困難と思われる。よって局部改良等に対応できないか調査検討するよう意見を付して採択とした。



陳情が提出された恵須美地区の道路状況

厚生常任委員会

委員長：町田 正一
副委員長：市山 和幸
委員：鵜瀬 和博、豊坂 敏文
音嶋 正吾、久保田恒憲

付託された国保補正予算、及び介護保険補正予算については原案どおり可決とした。今後の運営が危機的状況にある国保・介護であるが、市も特定健診の受診率65%達成を目指しており、市民皆様のご協力をお願いしたい。

平成23年度病院事業会計の決算について、前年度は累積欠損金20億を超え、何ら改善計画が示されない事から不認定とした経緯があるが、本年度は

次の3条件を付して認定とした。

- ①企業団加入手続きをスピード感持って進める。
- ②かたばる病院との統合の円滑化。
- ③企業団加入条件の職務職階制等の8条件のクリア

平成23年度の後期高齢者医療事業と介護保険事業の決算認定は、更に慎重な審査が必要と考え継続審査とした。

一般質問

10人の議員が登壇



郷ノ浦町体育大会 10月14日

榊原 伸 議員



◎ 目的が見えない

指定管理者制度を20の施設において導入しているが、メリットが解らない。また管理の期間が終わったあとの検証はしているのか。指定管理者候補者選定委員会の機能は発揮されているか。今後は公募も取り入れるべきと思うが。

▲ もっと検証して

市長

導入の目的は、多様化する住民のニーズに対応するため民間事業者の能力やノウハウを幅広く活用しつつ、住民サービスの向上とともに経費の削減を図る。選考委員会は今のまま、担当者の意見を十分聞いた上で委員会に臨むよう指示をし、議

会においても選定理由を説明させる。公募については選定委員会の意見をもう一步進め検証する。

◎ 今後の消防行政

国を守る自衛隊員、治安を任される警察官、地域住民の命や財産を守る消防署員の数は、基本的に増やす分でも減らしてはいけないと思っている。しかし地域の即戦力となる消防団については、条例定数を85人減とし1千20人となる。それで

も現在の団員数は99人で定数より30人不足している。

消防団の

次期編成に向け、各分団の調査が必要ではないか。そして、箱崎地区より要望が出されている新設の消防団設立



彦岐市消防団「全国消防操法大会優勝おめでとう」

に應えるべきではないか。

▲ 定数は減らさない

市長

消防署職員、分団員の定数を減らすことは考えていない。

消防団組織については、分団の無い箱崎地区へ、瀬戸の3ヶ分団の1つをと考えている。

現在、消防団幹部、公民館長を含めた検討委員会での協議中である。

今西 菊乃 議員



Q 図書関連

- ①郷ノ浦図書館の施設整備（空調）が万全ではない。立地条件の良い公立病院跡地に新設すべき。
- ②芦辺・勝本の公民館図書は利用者も減少し固定化している。
- ③学校図書費が少なく本



郷ノ浦図書館

の購入が不十分である。数校では図書館から大量に借りて対応している。今後、交付税も減り、利用者も高齢化し減少する中で、学校図書はもとより図書費の増額は見込めない。市立図書館を新設し、システムを繋ぎ、公民館図書・学校図書へ貸し出しできるように対策を取るべき。

④石田図書館の視聴覚室（シアタールーム）を夏休み等に活用すべき。

A より良い図書館運営

教育長

①今のよう
な郷ノ浦図書館のあり方等を含め、移設する場合合市保有の施設で対応できるか検証に入っている。

②活字離れ防止や本の活用を促進するために、新蔵書

を取り入れたり、石田・郷ノ浦図書館、或いは移動図書館との連携を図りながら貸出増に努める。

③予算要求に努める。学校と図書館との連携については、定期的に学校に貸し出す活動をしている。

④視聴覚機器の整備か、または学習室として利用するにしても多額の予算が必要。

Q 子育て支援

①「認定こども園」の改良を柱とした、国の子育て政策関連法が成立したが、市はどう取り組むか。

A 国の方針を待つ

市長

①国の方針が決まらないので、幼保一元化に向けた市独自のシステムを構築するため、検討委員会を準備を進めている。

②保育士等諸般の問題も含めてもう少し研究してみたい。

田原 輝男 議員



Q 島内道路整備

市民の生命財産を守るために出された道路整備の要望が、現在までに数多く上がっていると思うが、その対応策と今後の取り組みは。

観光地としての本市における観光道路整備計画について、市長の考えは。特に郷ノ浦・初山・石田までの自然景観にあふれた道路整備の計画を。

合併以前からの道路改良事業を優先しているが完了に至らず、緊急車両の進入が困難等の道路に取組んでいる。

観光道路の幹線整備は進んでいるが、観光地に近い道路で、狭くて危険

な箇所から整備する。

Q 農道整備について

今年24年度でふるさと農道整備事業が終了する。これに代わるメニューが有るのか。無いとすれば今後の対応策は。

A 予算削減

市長

ふるさと農道整備に代わる事業はない。事業の採択基準として受益面積が30ヘクタール以上であり、その要件に満たない道路は、生産性の向上を図れるよう施策するが、単独事業としての予算も厳しい現状。

Q レインボー運行を

唐津―長崎間のバス「レインボー号」が廃止され不便となった。復活できないかとの声があるが、市長の考えは。

A 要望する

市長

採算の合う乗車数の確保ができず運行中止となっているが、吉岐にとつては路線バスという観点から、県に引き続きレインボー号復活を要望する。



県道渡良浦初瀬線(初山・海豚鼻付近)

音嶋 正吾 議員



◎ 近隣諸国との領土問題

① 主権国家としての原理原則とは如何にあるべきと考えるか。

② 国境離島の領土保全上、外国人による土地買収を阻止する有効な法律がない。全国離島振興協議会長として、志岐島を守るべく指導力を発揮すべきではないか。

③ 全国的に、山林、離島、海岸線など、安全保障上の施設周辺が近隣諸国のターゲットとなり買収されている。条例の制定を考慮すべき。

A 市長として全力を尽くす

市長
① 国家について市長としての見解は控える。

◎ 全国離振会長ではあるが、防衛・国益に関しては限界がある。

◎ 現行法に問題があり実態も心配。国県の動向を注視する。

◎ ふるさと納税の推進

① 創設時から現在までの取り組みは。

② 交付税が減少する中で、今後、積極的に推進すべきでは。

A 納税者に感謝

市長

① 20年度20件、21年度88件、23年度126件と年次的に増加している。

② 各地の志岐人会に呼びかけ、積極的な啓蒙活動を行う。

◎ 地方分権型教育委員会

教育委員会の教育委員による組織を、地域の特性を活かしたものととして強化すべき。

A 教育に反映させたい

教育長

◎ 5名の教育委員は誠意その任務に当たっている。教育長として、各課・各室の職員と連携をとりながら、市民の役に立つ教育委員会となるよう努力していく。



海上保安庁巡視艇「いそかぜ」

深見 義輝 議員



◎ 学校教育のあり方

◎ 教育現場における現状と問題点、今後の教育のあり方について尋ねる。

- ① 学校教育の理念
- ② 学校環境について
- ③ 合併後の検証
- ④ 小学校のあり方

A かわいい子には旅を

教育長

① 学校は、児童生徒が社会に出て力強く生きていくため、学校、家庭、地域での共通理解を持つ事を教育の理念と捉える。

② 教育委員で適正規模の小学校について論議を重ねている。

③ 子ども達の順応性は素晴らしく、友人関係が広がり部活動への希望も満たされ、対人関係能力を鍛えている。

◎ ④ 普通学級で複式学級を含まず6学級以上の学校が望ましいが、複式学級を有する保護者と地域の皆さんとで考えをまとめていきたい。

◎ 安心できる学び舎に

① 不登校の現状と今後の課題、その取り組みは。

② 「いじめ」に対する現状の認識と今後の対策。

③ 児童の登下校における安全対策は。

A 力を合わせ取り組み

教育長

① 小学校の不登校児童はゼロ。中学校は昨年度の調査で30日以上の欠席者17人が、今年度1学期末に6人に減少。スクールカウンセラー等、教育相談体制の充実を図り、児童生徒や保護者に対する支援を継続している。

② いじめの報告は7件あるが5件は解消され、いじめ根絶に向け努力し

◎ ③ 学校、市教委、道路管理者、警察署で合同安全点検を行い改善を図っている。

◎ 安心安全マーク

◎ 以前提案していた、安心安全な農水産物の「志岐ブランド表示」について、推奨品マークはできたのか。

A これから

市長

◎ 商工会、農協、漁協等関係機関を含めたプロジェクトチームを立ち上げ取り組みよう指示した。



楽しい昼休み(勝本小学校)

鵜瀬 和博 議員



◎ 活かせ、離島振興改正法

正法

改正法は、離島の定住促進が目的に明記され、本土との格差是正のため流通コスト軽減やソフト事業充実を図る離島活性化交付金、離島特区制

度が創設され、国の支援体制も拡大強化される。いわば離島定住促進法のようなもの。

① 婚活事業と合わせUターン、結婚など定住促進策を策定すべき。定住促進奨励金は現金ではなく、市商品券支給で島内活性化を。

② 活性化交付金、特区制度活用など知恵を結集し、多岐にわたる事業を早急に策定すべき。離島の実情にあった小中学校の学級、複式編成の教育特区を。

③ 離島航路は島の生命線。船便の欠航情報など防災メールやCATVデータ放送など活用したシステムの構築を。

離島の流通コスト軽減を



▲ 離島の知恵くわい

市長

① テレビ番組を通じて市民の機運が高まった。政策企画課の「おむすび班」を中心に大作戦を展開する決意。

Uターンについては、雇用の確保ができるかが問題。知恵を出していきたい。

② 離島特区は、今までの規制緩和だけでなく、補助金がつくので研究を重ねる。

教育長

教育特区は小学校の学級編制にしても現在2学年16人以下で複式学級となっているのを、12人以下にすれば相当数の複式学級が解消される。県教育委員会へ申し入れる。

市長

③ 欠航情報は、九州郵船独自で取り組んで欲しい。多岐ビジョン朝6時から欠航情報は、社内体制から困難。

消防長

防災メールで船の欠航情報はできない。

町田 正一 議員



◎ 「いじめ」問題

① 全国で毎年7万件にもほり深刻化する「いじめ」の定義とは何か。

② 対応マニュアルは作成されているか。

③ 教職員には心の余裕が必要と考えるが、事務処理等の負担過重にはなっていないか。

④ 「いじめ」や不登校があると職員評価が低下する

るのか。

▲ 教育現場を信頼

教育長

① 「いじめ」とは一定の人間関係のあるものから心理的、物理的な攻撃を受ける状態で、学校の内外を問わない。

② 県教委が示す「いじめ対応ハンドブック」がある。各学校で独自に作成をし、このマニュアルに応じ即時対応に努める。

③ 教育・学習指導を通じて子どもとの信頼関係は必要と考えるが、事務処理等の負担過重にはなっていない。

④ 失敗することはどの教員にもある。それを指導するのは教頭、校長であり、その努力をしている。

◎ ユニット型特養ホーム

※

生活保護受給者及び、年収80万円未満の第2段階の特養ユニット型入所について。

① 市内の生活保

護受給者の高齢化状況は、

② 国はユニット型の施設のみ補助金を出し、当然、新施設はユニット型である。

厚労省の通達で生活保護者も入所可能としているが市の対応は。

▲ 法人にも協力を

市長

① 生活保護受給者は市内377世帯558人で、65歳以上の単身は179人。

② 生活保護者の居住費は、一部助成措置はあるが事業者が負担する。第2段階の減免措置はある。

◎ 障がい者の入所施設

親が高齢化していく中で一生涯保護できる入所型施設が必要ではないか。

▲ 是非とも必要

市長

島外の32施設に60人の方がおられ、市内で何とかならないか検討中。

※ユニット型特養ホーム
個室入居者数人を1単位として、食事や入浴などの日常生活をこの単位で行う。

10/4 中体連駅伝大会



呼子 好議員



Q 離島振興に力を注ぐ

市長

離島住民が願っていた改正離島振興法の振興予算をフル活用し予算化を図る。また、杵岐市長として、全国離島振興協議会長として努力したい。

Q 農水産業の振興

離島の医療、教育、産業、観光等、市の総意工夫を促す方針のソフト事業には、離島振興法の改正により創設される離島活性化交付金を活用し、新規参入、定住促進等を支援するため平成25年度事業に反映されたい。

Q 海岸の高潮対策

台風の高潮時には、高潮による潮位が上がり、浦部を中心に道路の冠水や床下浸水が起きる。特に小崎、八幡、勝本浦等は早急な対策を要するため国県へ整備の要望を。

A 災害防止に努める

市長

杵岐にはなじみが薄いと思われるが、満潮と重なる時に高潮の被害を受けやすい。被害防止のため、国県の専門家の力添えを願う。必要に応じて。

Q 岸壁に階段の設置を

市長

干潮時の船の乗り降りの時には危険である。階段、ハシゴ、手すり等の設置を。

A 実態調査をする

市長

相当数のタラップ設置となり現実的に厳しい。その実態を漁協と協議したい。

Q 廃校中学校の備品

廃校後の不要となった備品が旧那賀中学校に集積されている。また、一部の備品は旧中学校に残されている。

まだ利活用できる物品があり、市民に公募して売却すべき。

A 競売する

教育長

物品や図書類を整理し、ピアノや卓上機器など、一般競売に向けて準備を進める。近いうちに地域の方を中心に案内していきたい。



廃校中学校の備品

久保田恒憲 議員



A 健診で早期発見

市長

①高額医療の内80万円以上の医療費は415件、200万円以上が44件、最高額は80万円を超える。

②国保で県内21市町のうち13位。医療費抑制には疾病の早期発見・重症化予防が重要で、特定健診の受診率65%達成を目指したい。

Q 医療費抑制を

①杵岐市の高額医療費の現状は。
②長崎県の1人あたりの国保医療費は全国で6番目に高い。杵岐市の県内順位と対策は。

Q 小学生スポーツ

①小学校の社会体育としてのクラブ活動は、試合

中心で加熱傾向が見えるが問題はないか。
②県大会等の出場補助金制度は周知不足である。今後この制度は維持できるのか。

A 体力向上を目指した運動の習慣

教育長

①練習時間が長い。児童数の減少で低学年が入部するためケガの不安、遠征費用の負担等の問題がある。子どもの長い将来を見据えたスポーツに改善したい。
②補助金は維持したい。制度の周知に努める。

Q 交流人口の増加策

観光サポーター制度を提案し実行しているが、今までの成果を尋ねる。
①サポーターによる年度ごとの誘客数は。
②これまでの経緯を踏まえ、今後の取り組みを問う。

A 制度の周知徹底

市長

①21年度、サポーター4人で、94人の誘客。
②22年度、3人で60人誘客。
③23年度、2人で46人誘客。
④制度を市民へ浸透させるため市職員にも活用を呼びかける。



ジュニアソフトの試合 「大人顔負けの真剣さ」

瀬戸口和幸 議員



捕獲対策、毒エサ散布等による駆除、飼い犬の放置防止のため処分費用の助成等を考えては。

A 野犬化防止を市民に

市長

Q 野犬駆除を
以前にも増し、野犬の徘徊が目立ち、目に余る状況にある。

このまま放置すれば人畜への被害の恐れもあり、抜本的な対策を講じる必要がある。

野犬の生態に対応した

Q 地域防災計画の

あり方

犬の処分費用の助成については検討する。

野犬の捕獲については有効な対応策を模索している。飼育放棄しないよう呼びかけを行う、避妊助成の周知を行うなど、野犬化防止を市民へ呼びかける。



野犬捕獲わな

野犬の捕獲については有効な対応策を模索している。飼育放棄しないよう呼びかけを行う、避妊助成の周知を行うなど、野犬化防止を市民へ呼びかける。

等)を優先的に検討しておくべきと思う。

早急に市長直属の危機管理室を設置し、このための所要の検討を進める必要がある。

A 市民に防災意識を

市長

原子力災害対策については、11月17日に県の防災訓練が実施される。吉岐、佐世保、松浦、平戸同時に行われ、玄海原発事故を想定した防災訓練となる。

これを参考に、避難計画や災害予防計画を整備し、併せて災害が発生した場合に備え、復旧対策を盛り込む予定。

危機管理室については必要性を十分認識しており今後研究するが、市民を原子力災害からどう守るか対策を講じたい。

私たちの願い



合併後の新市町への
財政支援策の充実強化
を求める意見書

長崎県は、市町村合併に伴い、従来の79市町村が21市町に再編され、その減少率では、73.4%と全国一合併が推進されたところである。

合併市町は、普通交付税の合算代替により、何とか安定的な財政運営を維持しているが、普通交付税は、合併後10年間の特例期間に続き、5年間の経過措置を経て段階的に減額されることから、今後、大幅な財源不足を生じることが見込まれる。

合併市町においては、合併したことによる新たな住民ニーズの発生や地理的要因に起因する課題等、特別の経費が生じていることから、今後も安定的な財政運営が継続できるよう、合併算代替に替わる新たな財政支援措置を講じるよう強く要望する。

地方自治法第99条の規定により意見書を内閣総理大臣外関係機関に送付した。

地球温暖化対策に関する
「地方財源を確保・
充実する仕組み」の
構築を求める意見書

地球温暖化防止をより確実なものとするために、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

しかしながら、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足しているため、次の実現を強く求めるものである。

記

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

報告会での「質問Q & A回答」



その後の議会対応

市民Q

九州郵船ジェットフォイルの1時間前からの発券業務は理不尽。予約の段階で指定席にしてほしい。

議会A

五島航路は全席指定。九州郵船の発券業務等、調査をして改善を要望する。



所管委員会 航路対策調査特別委員会

(九州郵船(株)福岡本社へ出向き調査)

システム変更が簡単でなく、発券は郷ノ浦港以外は代理店業務のため人件費の調整が困難。運行決定を早くすれば欠航率が高くなるため1時間前としている。また、アンケート調査で「指定席に反対」が約60%であったため全席自由とのこと。

市民Q

ボランティア活動が多いが、島内の自動販売機を撤去してはどうか。環境も良くなり商店の活性化にもつながる。

議会A

大人が捨てた空き缶を子ども達が拾う姿など忍びない。即答できないので検討する。



所管委員会 産業建設常任委員会

(環境衛生課の回答)

市内約800台の自動販売機は、土地所有者と業者間での契約で設置されている。空缶等の投げ捨ては個々の意識の低下であり、今後さらに啓蒙活動に取り組んでいく。

市民Q

Iターン、Uターンが少ない。農協や漁協との連携もとれていない。市はもっとしっかり取り組むべき。

議会A

今後、制度を充実するよう要望する。



所管委員会 総務文教常任委員会

(担当課と協議)

新規就農者支援事業、漁業新規就業促進事業、空き家・空き地情報バンクによる情報発信等を行っている。今後、離島改正法の施行に伴い、新たなメニューが準備されるので活用し取り組んでいく。

市民Q

杵岐市の学校耐震化は県下で2番目に取り組みが遅れている。その理由と議会のチェックはどうか。

議会A

遅れの理由は把握していないので調べてみる。耐震化工事は今年度～平成27年度の予定。



所管委員会 総務文教常任委員会

(教育委員会の回答)

耐震化の優先度調査は、平成18、19年に終えていたが、2次診断の実施時期が本土地区と重なり、設計業者が手薄になり、この診断が平成22年度にずれ込んだため。

市民Q

水稻防除への助成金が無くなっている。耕作者の高齢化で需要は増加しているので是非補助を。

議会A

要望として市に伝える。



所管委員会 産業建設常任委員会

(農林課の回答)

現在まで、機械導入に対する国庫補助金への上乘せとオペレーター養成に係る県補助金に対する上乘せ助成をしている。今後もオペレーター養成に対する助成を引き続き行うため、新たな水稻防除利用料への助成は考えていない。

市民Q

中学校スクールバス利用は、平等性に欠けるのではないか。

議会A

今後、新たに検討部会を立ち上げる必要があると思っている。



所管委員会 総務文教常任委員会

(担当課と協議)

教育委員会において、各中学校で小委員会を立ち上げ意見交換をし、12月頃に市内全中学校での検討委員会を発足させ、平成25年度に向け取り組みたい。

市民Q

廃校の跡地利用、中学校の廃校は1年前から分かっていたこと。

議会A

早急に検討部会を立ち上げる必要がある。



所管委員会 総務文教常任委員会

(担当課と協議)

8月に、副市長をトップとして各部長等による「中学校跡地利活用検討委員会」を立ち上げ、現在検討中。今後、利活用計画案をまとめる。

市民Q

観光地にふさわしいと思い地域で管理している場所にトイレの新設をお願いしたが、観光地ではないという理由で断られた。

議会A

トイレの管理費に多額の予算を必要としている。新設希望の場所をよく調査して担当課と協議する。

所管委員会 産業建設常任委員会

(観光商工課、市民福祉課の回答)

- 観光地としての位置づけがなく、観光施設としてのトイレ設置はしない。
- 戦没者慰霊碑がある事から、遺族会による参拝清掃が行われている。個人所有地でもあり、今後の利用状況を考慮しながら協議する。



市民Q

三島の高校生の通学方法(早朝補習・クラブ活動参加への境遇)を改善して欲しい。

議会A

教育委員会と協議をする。

所管委員会 総務文教常任委員会

(教育委員会と協議)

朝夕の定期便のダイヤ変更は住民の理解が得られないため、スクールボートの対応が出来ないか、総務課と教育委員会で協議する。



市民の声

議会だよりクイズの応募の中で、お寄せいただいたご意見やご感想を紹介するコーナーです。

一次産業で活性化し、ネット利用で収入増を図り、島民幸福度アップを目指して頂きたいと思います。 58歳

夏休みに壱岐のおばあちゃんの家に行きました。レインボー壱岐号がなくなって往復が不便です。夏休み、冬休み、春休み、ゴールデンウィークなど連休だけでもあるといいです。 11歳

報告会の意見交換たくさんの方が来られ、壱岐のために考えて活動され、みじかのでできる事があれば参加したいです。 50歳

市民と議会が直に触れ合う機会をもっと増やしてほしい。今回の「議会報告会」は女性の参加者が少なかったようなので、次回はできる限り私も参加して一市民として耳を傾けたいと思う。 56歳

「2035年の壱岐の人口は16,000人と推定されている。」を見て驚きました。人口の減少を止めるための対策は、壱岐市行政の最重要課題だと思います。 54歳

夏休みの朝、スクールバスを待っている男子と女の子が笑顔で話していました。朝からさわやかな気分になりました。スクールバスで良い方の一面を見たように思いました。 60歳

長崎国体に向けて「花いっぱい運動」を取り組むのは良いことだと思いますが、その前に舗道のコンクリートからの雑草が気になって仕方ありません。除草作業を是非お願いしたいです。 45歳

議会報告会に学生が参加しているようで、とてもすばらしいと思いました。他の市町村では見られない光景でほほえましかったです。壱岐の未来が明るく思えました。 30歳

第15回 議会だよりクイズ

柳田保育所のお友だち



第14回クイズの答え
 ①2人 ②19クラス ③140人
 応募総数17人で全員が全問正解です。
 ご応募ありがとうございました。

～第14回クイズの当選者～
 川浪則子様 小西由衣様
 松本昂樹様 山川江梨子様
 正路ちひろ様 (順不同)
 おめでとうございます!

クイズに答えて
 図書カード(1,000円)
 が当たります。皆さんの
 ご応募待ってま～す!!

クイズ 次の問題に答えよう

- その①** 独居高齢者の安否確認等のため訪問調査をする人のことを何サポーターと呼ぶ?
- その②** 復興財源確保のため、平成26年度から10年間個人市民税に何円加算される?
- その③** 島外に住むぎ岐出身の方からの「ふるさと納税」は平成23年度には何件あった?

ヒント この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで良く読んでみてください。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。
 議会だよりを読んだ感想や、市政への**ご意見・ご要望**などもお書き添えください。
 ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。
 正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。
 (当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒811-5521
 ぎ岐市勝本町西戸触 182-5
 ぎ岐市議会事務局 宛

《しめきり》平成24年11月30日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。



今年、私も還暦を迎えることになりました。同級生との同窓会準備会では血圧や血糖値、悪玉コレステロールの値などが話題の中心となり、健康問題と同時に、学校生活の思い出にも花が咲きます。貧しい時代でした。シイの実、山桃、グミ、マテ、ウベ、野イチゴ等、口に入るものは登下校に食べました。コウバシ(はったい粉)やカタクリ粉は病気の時の食事です。現代なら教師失格ですが、殴って解らせようとする熱血先生など、個性的な先生も沢山おられました。

遠い日の輝く日々です。

今の世は、みんな心に余裕がなくなっている様に思います。

ちなみに、行政が還暦式を実施しているのは全国でぎ岐市だけです。

このような機会には是非参加して、人生の岐路に立ち返り旧交あたためるのも大事なことも知れません。

町田 正一

編集後記

○編集 議会広報特別委員会
 〒811-5521
 長崎県ぎ岐市勝本町西戸触 182-5
 TEL : 0920-42-1111
 FAX : 0920-42-0096
 【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp
 【URL】 http://www.city.iki.nagasaki.jp

○公職選挙法の規定について
 お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。
 市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。
 ぎ岐市議会議員一同

お知らせ
 ぎ岐市ホームページ
<http://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告および議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

